様式３（2015.06改）

作成日　平成30年12月14日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373000534
事業所名	グループホーム　メナージュかずえ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	地域のふれあい祭りで、職員が講師を務めて情報発信し、認知症カフェに利用者と参加し、認知症の理解が深まる取り組みを行っている。 実習生やボランティアの受け入れも積極的に行い、地域との交流を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	家族代表、地域包括支援センター職員、区長、民生委員、ボランティア代表等、多数の参加を得て、年6回開催している。 現状報告や防災、地域の課題等、議題は多岐に亘り、意見をホーム運営に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	地域包括支援センターとの連携は密で、利用者の受け入れや、在宅復帰に向けての協力体制が築かれている。 市主催のグループホーム部会や月2回の連絡調整会議に参加し、情報収集や意見交換を行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の交流会や、運営推進会議後には、利用者、家族、職員が集う交流会を開催し、その都度意見や要望を聞き取っている。 月1回介護計画を説明する個別の家族面談を行い、家族との信頼関係を深めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	